



2008～09 年度  
国際ロータリー会長

李 東 建

# Weekly Report Niigata



2008～09 年度  
新潟ロータリー会長

柴 田 史 郎

新潟 RC 8 月第 2 例会 (2008.8.19) No.2765

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 柴田 史郎会長挨拶

お盆休みも終わって職場復帰なされた事と思います。さて8月は色々と考えさせられる少し重苦しい月でもあります。一方オリンピックも開かれています。一方華やかな反面まやかしの「平和」の祭典とも言えます。民族の誇り、人権と言った問題に対しまともな発言が出来ない商業主義に毒された IOC の姿もあからさまになりました。

昭和20年8月7日と9日にアメリカ軍により原爆が投下され、広島、長崎それぞれ14万、7万の非戦闘員である市民が殺戮され、それに倍する負傷者と原爆症患者が出ました。田上長崎市長は「長崎平和宣言」の中で3点指摘しております。第一に原爆はアメリカ軍により投下された事。この人道にもとる過ちを犯したことをアメリカは認識し責任を感じるべきであり核兵器廃絶に向けて率先して運動する義務がある。第二に永井 隆博士による「戦争に勝ち負けはない、滅びだけである」という医師であり被爆者でもある方の言葉は非常に重いという事。第三に核兵器廃絶に向けて核保有国や日本政府の責任は重いけれども、この目的に向かって広島や長崎の市民も終始一貫地道な活動を続けているということ、などです。

大国の論理を覆し、地球と子供達の未来を救うべく核兵器廃絶への思いを述べた平和宣言は使命感にあふれています。一見理想主義的な平和運動に見えるけれどもこういった地道な活動こそが大切である事を教えられます。

ロータリーは人生哲学であると申します。この人生哲学も若干理想主義的な面を有しておりますが、各自ロータリーの本質について考え地道に活動していくことが大切なのではないかと思っています。

(3) 徳永 昭輝さんへ米山功労者第11回メジャードナー感謝状贈呈

(4) 元会員 鳥居 吉治さんへ  
米山功労者第1回感謝状、ご本人へ転送の旨報告。

(5) 幹事報告

- ・例会終了後、情報委員会を開催致します。情報委員の方は例会場前のロビーに集合願います。
- ・前橋 RC より10月7日に開催されます創立55周年記念式典のご案内をいただきました。後日、皆様へ詳細をお送り致します。

## (6) 卓話 81万市民とともに「地球環境元年」

～新潟市における地球温暖化対策～

新潟市役所

環境対策課地球温暖化対策室長 松田 賢一氏

### 1.地球温暖化対策の背景

- (1) 世界の状況
- (2) 新潟市の状況

### 2.地球温暖化対策の取り組み

- (1) 国際的な取り組み
- (2) 日本の取り組み
- (3) 地方公共団体の役割

### 3.新潟市の取り組み

### 4. 循環型社会の構築

- (1) 新ごみ減量制度の導入

### 5. 計画的な温室効果ガス削減

- (1) 新潟市地球温暖化対策率先実行計画
- (2) 新潟市地球温暖化対策地域推進計画

### 6. 自動車依存型社会からの脱却

- (1) にいがたオムニバスタウン計画
- (2) 自転車利用の推進

### 7. エネルギー施策の推進

- (1) バイオマス利活用の推進
- (2) 新エネルギーの導入
- (3) 新たなエネルギー基地としての新潟市の可能性

## 8月26日の例会予定

会員スピーチ「温暖化対策で一石二鳥」

(株)ユアテック 新潟支社長 中村 彰 君